

# はじめに

私たちのふるさと大分県は、豊かな自然が多く残されており、そこでは様々な生きものが互いに関わり合いながら生息・生育しています。この豊かな生物多様性によって、私たちが生きていくうえで欠かせない空気、水、食料などがつくられています。私たちの暮らしは、豊かな自然環境が育む生物多様性によって支えられているのです。

しかしながら、自然とともに生きていた時代とは異なり、現代の私たちは経済の進展と引換えに自然を深く傷つけ、生きる基盤でもある生物多様性を損なう行為を繰り返してきました。また、温暖化などに起因する環境変化も生物多様性にとっては大きな脅威となっています。

このような中、県では平成23年3月に「生物多様性おおいた県戦略」を策定しました。「豊かな自然と人間とが共生するふるさとおおいたの創造」を目標にこれまで取組を進めてきましたが、目標の実現に向け、さらなる取組が求められています。

このため、新たに「第2次生物多様性おおいた県戦略(2016-2020)」を策定し、次の5年間の取組の方向性を明確にしました。

この県戦略では、「生物多様性国家戦略2012-2020」の5つの基本戦略と、生物多様性に関する世界目標である愛知目標などをふまえ、生物多様性を「理解する」、「行動する」、「保全する」、「回復する」、「未来につなぐ」という5つの基本方針を掲げました。

この基本方針に基づき、生物多様性豊かな大分県を将来につなぐため、県民、民間団体、事業者、市町村と協働しながら取組を進めていきます。

最後に、県戦略策定にご尽力いただいた委員の皆様をはじめ、ご協力いただきました多くの方々に厚く御礼申し上げます。

平成28年3月

大分県生活環境部長 諏訪 義治